



新型コロナウイルス感染拡大の影響により中小企業の業況は大幅悪化 -第179回全国中小企業景気動向調査より-

伊藤 壮太

ポイント

- 信金中央金庫 地域・中小企業研究所がとりまとめている「全国中小企業景気動向調査」の結果をみると、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全6業種が前期と比較して業況悪化となった。
- サプライチェーンの混乱やインバウンド需要の喪失による業況への悪影響が大きく、今後の資金繰りを不安視する中小企業も多くみられる。
- 来期についても業況、資金繰りともに一段の悪化が見込まれ、予断を許さない状況となっている。

はじめに

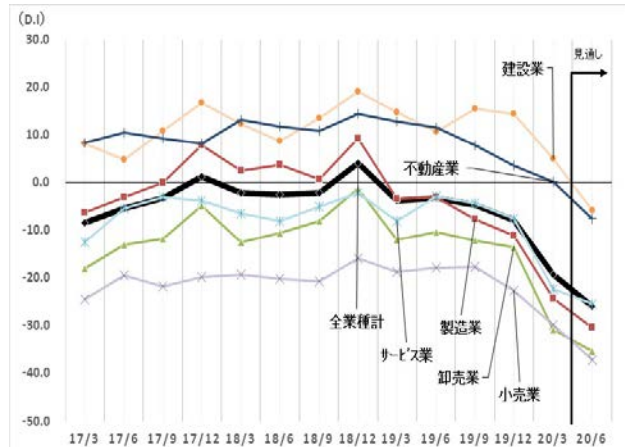
信金中央金庫 地域・中小企業研究所では全国の信用金庫の協力を得てとりまとめている「全国中小企業景気動向調査」を四半期毎に実施している。2020年3月調査（調査期間：3月2日～6日）では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて業況が悪化する企業が多く見られた。また、調査員のコメントからも新型コロナウイルス感染拡大によって売上が低下したなどの声が聞かれている。そこで今回は2020年3月調査の結果をあらためて概観する。

1. 業況は急速に悪化

2020年1～3月の業況判断D.Iは△19.3となり、前期比11.5ポイント悪化した。悪化幅はリーマンショック時（12.6ポイント悪化）以来の大幅なものとなった。業種別では、全6業種で悪化した。最も悪化幅が大きかったのは卸売業（17.3ポイント悪化）で、次いでサービス業（14.7ポイント悪化）、製造業（13.2ポイント悪化）の順だった（図表1）。

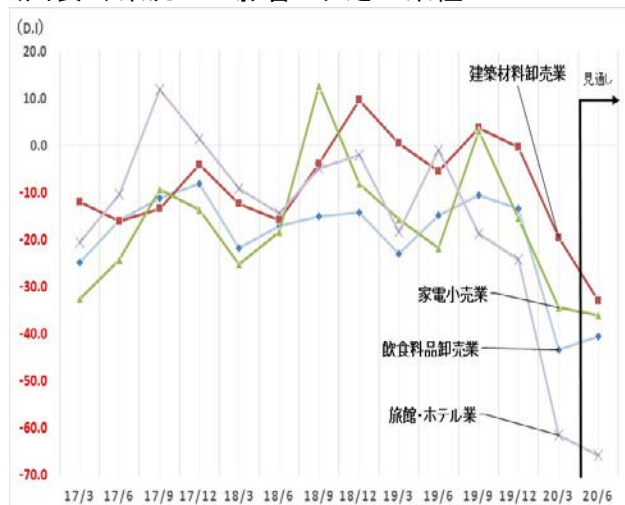
小業種別にみると、旅館・ホテル（37.2ポイント悪化）、飲食料品卸売業（29.9ポイント悪化）、建築材料卸売業、家電小売業（19.0ポイント悪化）などの落ち込みが目立つ（図表2）。本調査による信用金庫調査員のコメントからは、「コロナウイルスの影響により一部の中国産の製品、部品に関して入荷が未定となっており、納期に遅れがでる可能性がある。また受注自体も中止になりかねない。（建材卸売業 青森

（図表1）業況判断D.Iの推移



（備考）全国中小企業景気動向調査をもとに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

（図表2）業況への影響が大きい業種



（備考）全国中小企業景気動向調査をもとに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

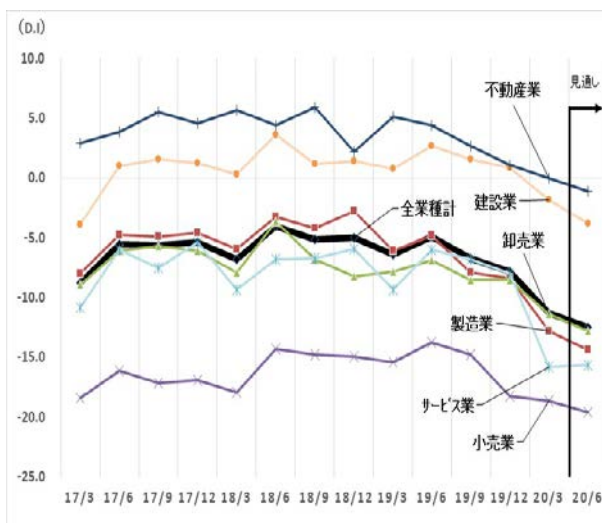
県)」のようにサプライチェーンの混乱により事業に深刻な影響を及ぼしている企業や、「**新型コロナウイルスの影響により外国人観光客、日本人観光客ともに激減している。(宿泊業 沖縄県)**」のようにインバウンド需要の喪失に伴い事業に深刻な影響がでている企業もある。一方で「**新型コロナウイルスの影響により、中国から部品調達が困難になった事で取引先からの受注が増加した。(精密部品製造業 千葉県)**」といった企業もあり、海外から国内へと製品、部品の調達先を変更する動きもでてきている。

2. 資金繰りも悪化

業況同様に資金繰りについても悪化していると回答する企業が増えている。資金繰り判断 D.I は△11.3 となり、前期比 3.5 ポイント悪化した。リーマンショック時 (6.4 ポイント悪化) に次ぐ悪化幅となった。また、業種別では全 6 業種で悪化した (図表 3)。

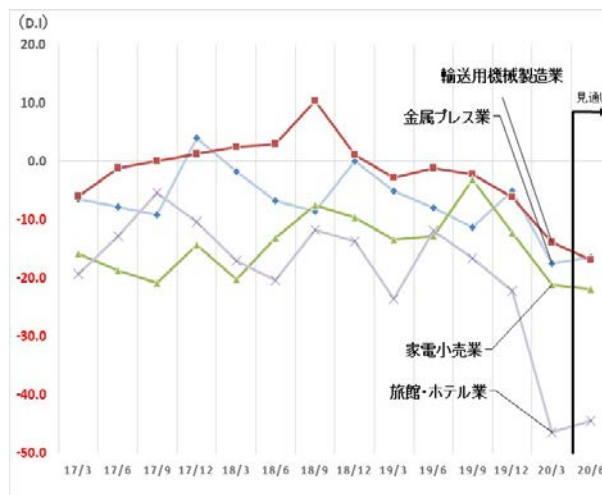
小業種別にみると、旅館・ホテル (24.2 ポイント悪化)、金属プレス (12.3 ポイント悪化)、家電小売業 (8.8 ポイント悪化)、輸送用機械製造業 (7.7 ポイント悪化) などの落ち込みが目立つ (図表 4)。本調査による信用金庫調査員のコメントからは、「**新型コロナウイルスの影響により資材等が入荷待ち状態となっており、代金回収出来ず資金繰りが圧迫されている。(不動産業 滋賀県)**」といったコメントや、「**新型コロナウイルスの影響により外出を控える人が増加しており、例年に比べ春物衣類の売上が減少している。今後の資金繰りが懸念される。(小売業 秋田県)**」といった売上減少に伴い資金繰りが圧迫されており、今後は金融機関からの借入を検討するといったコメントも多く見られた。一方で「**新型コロナウイルスの影響により、各種イベントがキャンセルとなったが資金繰りに関してはまだ余力があり、今のところは自己資金にて対応可能である。(酒卸売業 静岡県)**」といったように、売上は減少しているものの資金繰りについては自己資金にて対応できる為、当面は問題ないとのコメントもある。しかしながら来期は△12.5、今期比 1.2 ポイントの悪化と一段の悪化が見込まれており、予断を許さない状況となっている。

(図表3) 資金繰り判断 D.I の推移



(備考) 全国中小企業景気動向調査をもとに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表4) 資金繰りへの影響が大きい業種



(備考) 全国中小企業景気動向調査をもとに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

おわりに

今回の調査により、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるサプライチェーンの混乱やインバウンド需要の喪失に伴い卸売業、サービス業をはじめ業況が悪化していることが明らかとなった。他業種においても今後影響がでる可能性が高いというコメントも多く不透明感が拭えない状況となっている。また、資金繰りについても今後借入を検討する可能性があるといったコメントが多く、信用金庫としては今後取引先の業況、資金繰りを正確に聴取した上で適切な対応が求められる。

以上